

2. 自治会（町内会）調査

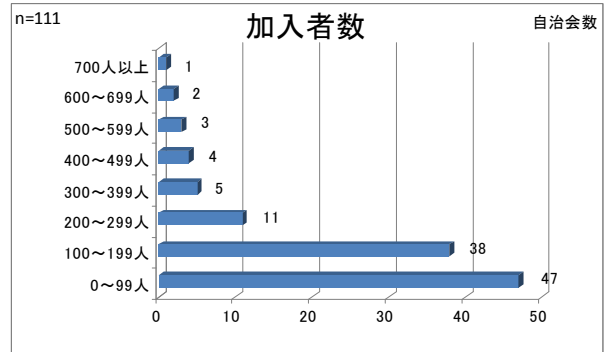
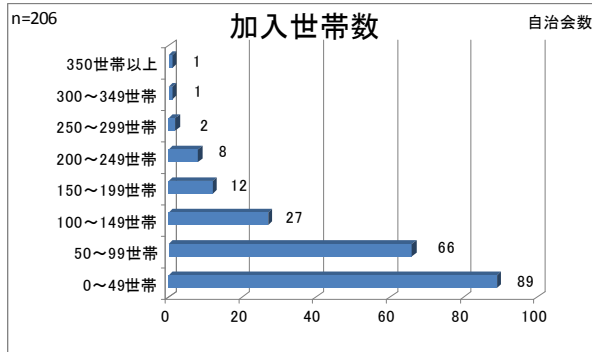
回答率 75.5% (209/277 自治会 (町内会))

(1) コミュニティ（自治会（町内会）の状況、防災、交流基盤、マンションとの関わり等）

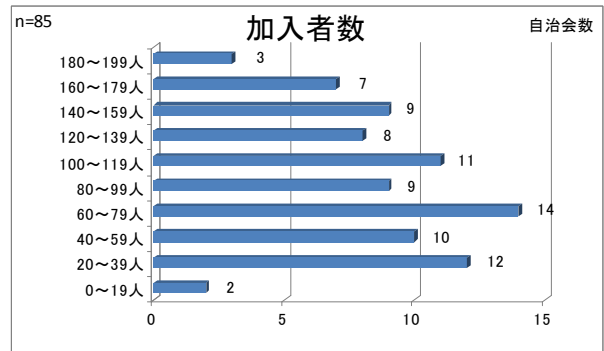
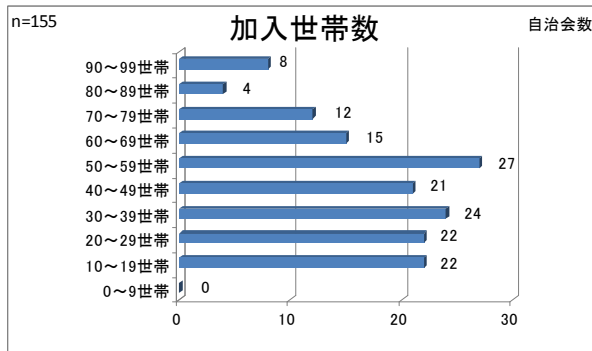
ア 自治会（町内会）加入世帯数、加入者数（問1-1）

比較的小規模な自治会（町内会）が多い。

- ・加入世帯数 50 世帯未満：89/206 自治会、43.2%
- ・加入者数 100 人未満：47/111 自治会、42.3%



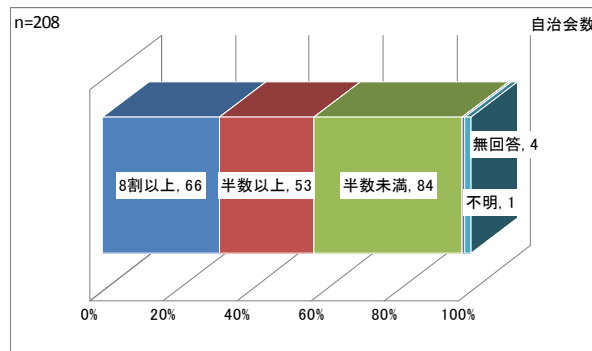
※加入世帯数 100 世帯未満、加入者数 200 人未満の自治会（町内会）の内訳



イ 自治会（町内会）への参加割合（問1-2）

総会に加入者の「8割以上」が参加する自治会（町内会）は約3割。4割強の自治会（町内会）は加入者の総会への参加が「半数未満」。

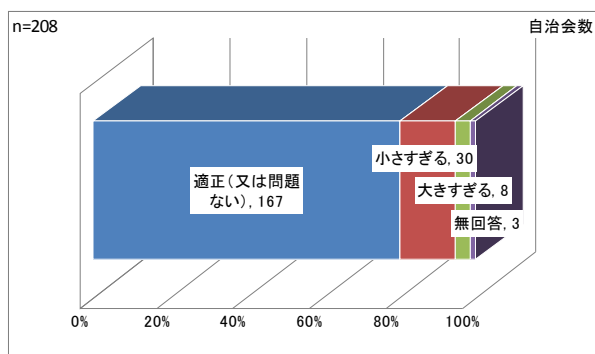
- ・「8割以上」が参加：66/208 自治会（町内会）、31.7%
- ・「半数未満」が参加：84/208 自治会（町内会）、40.4%



ウ 自治会（町内会）規模（問1-3）

自治会（町内会）の加入世帯、人数などについて適正と感じている自治会（町内会）長が多い。

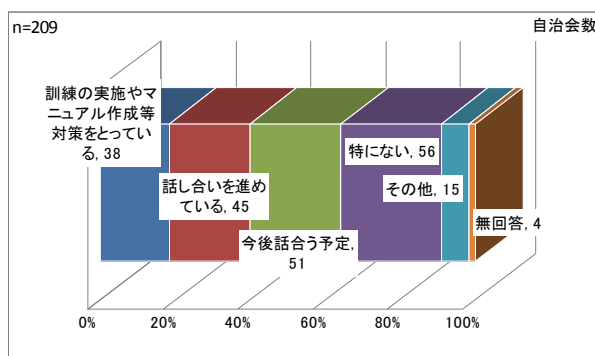
- ・適正（又は問題ない）：167/208 自治会（町内会）、80.3%
- ・小さすぎる：30/208 自治会（町内会）、14.4%



エ 地震等大規模災害への対策や話し合い（問2-1）

現在対策をとっている自治会（町内会）と、話し合いを進めている、将来に話し合いを予定している自治会（町内会）が約6割。

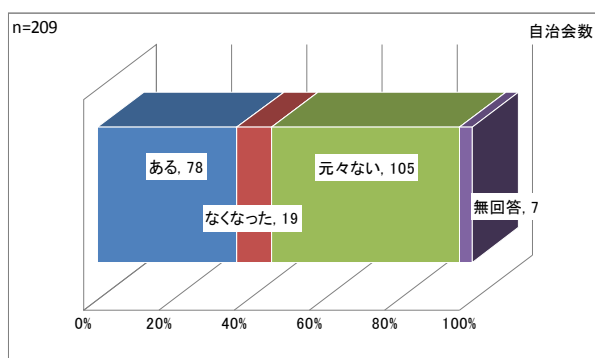
- ・訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている：38/209 自治会（町内会）、18.2%
- ・話し合いを進めている：45/209 自治会（町内会）、21.5%
- ・今後話し合う予定：51/209 自治会（町内会）、24.4%



オ 固有の文化的遺産（伝統芸能、祭など）の有無（問4-1）

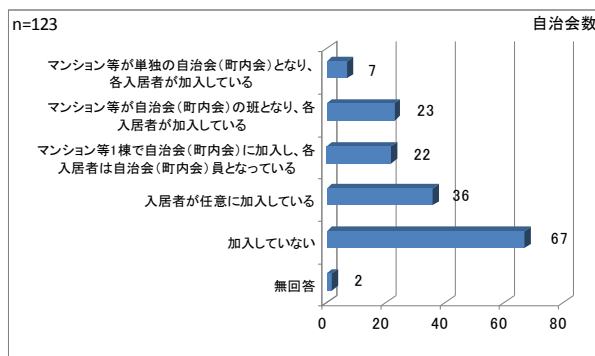
「元々ない」自治会（町内会）が半数以上。

- ・元々ない：105/209 自治会（町内会）、50.2%
- ・ある：78/209 自治会（町内会）、37.3%
- ・なくなった：19/209 自治会（町内会）、9.1%



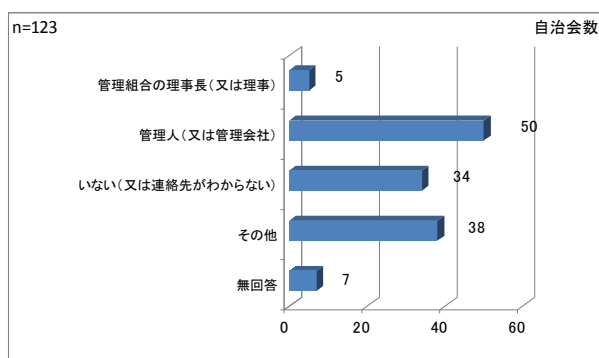
カ マンション世帯の自治会（町内会）加入状況（問4-4、複数回答）

「加入していない」が最も多く、次いで「入居者が任意に加入している」場合が多い。



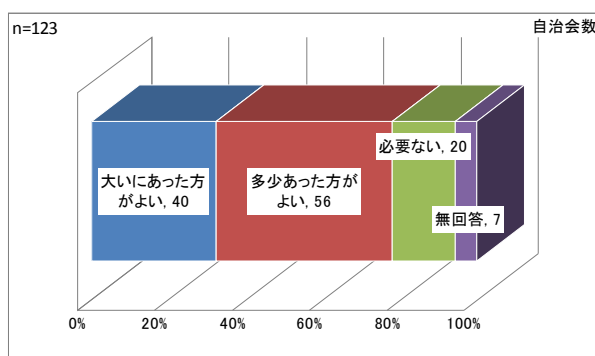
キ マンション等における地域の自治会（町内会）との連絡窓口（問4-5、複数回答）

「管理人（又は管理会社）」が窓口となるケースが最も多い。



ク 地域から見たマンション世帯との交流のあり方（問4-6）

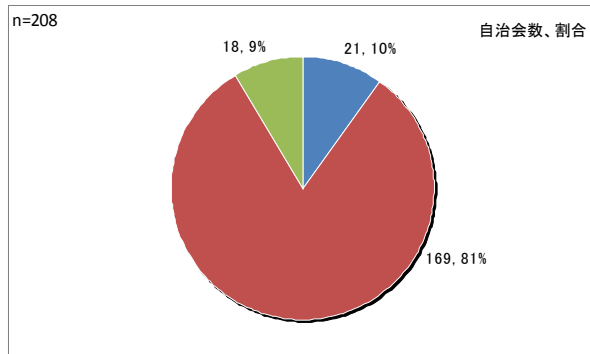
「多少あった方がよい」「大いにあった方がよい」との意見が8割近くある。
(96/123 自治会（町内会）、78.0%)



(2) 居住環境 (交通、買い物、医療、空き家等)

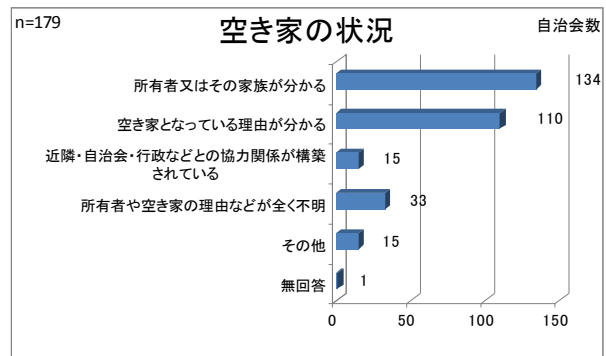
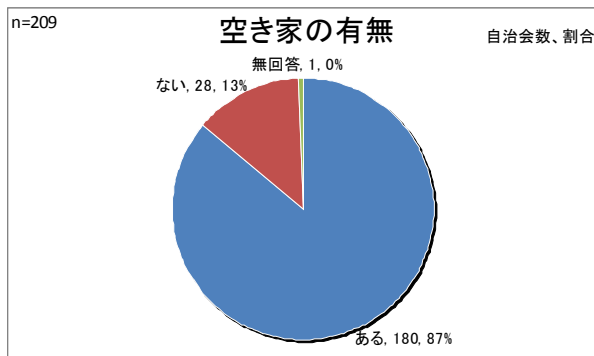
ア 交通・買い物・通院等に関する、自治会 (町内会) 内での話し合い (問3-3)

「ない」と答えた自治会 (町内会) が8割強。(169/208 自治会 (町内会)、81.3%)



イ 空き家の有無・状況 (問2-2、状況については複数回答)

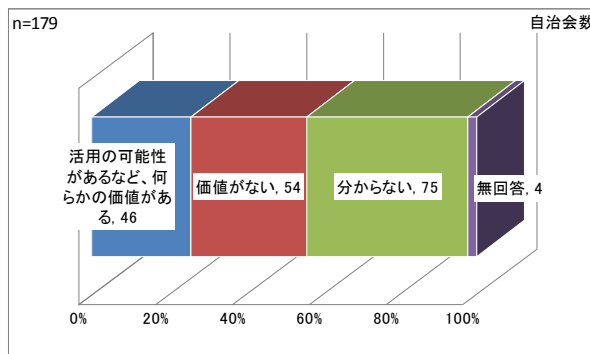
「ある」と答えた自治会 (町内会) は9割弱。(180/209 自治会 (町内会)、86.1%) ある程度、所有者や空き家になった理由などが把握されている。



ウ 空き家に対する評価 (問2-2)

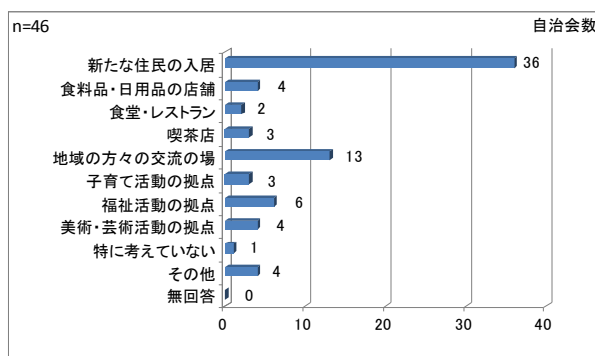
空き家の価値については「分からない」とする回答が多く、次に「価値がない」との回答。

- ・分からない：75/179 自治会 (町内会)、41.9%
- ・価値がない：54/179 自治会 (町内会)、30.2%
- ・価値がある：46/179 自治会 (町内会)、25.7%

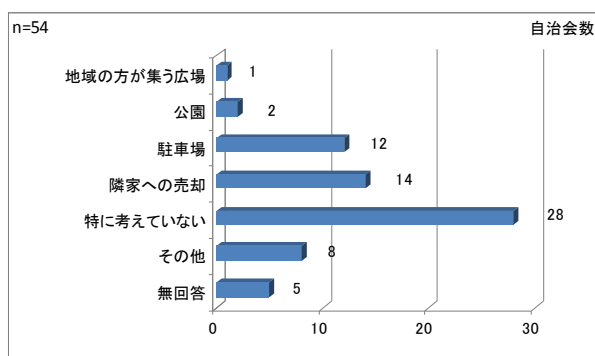


エ 空き家の活用方法（問2-2、複数回答）

建物として活用できる場合の活用方法としては、「新たな住民の入居」への期待が多く、次いで「地域の方々の交流の場」への期待が高い。



解体して土地を再利用できる場合の活用方法としては、「特に考えていない」が最も多く、次いで「隣家への売却」、「駐車場」が多い。



（3）困りごと、不安

区分	内容	課題
コミュニティ 少子高齢化・自治会運営	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内は人口減少と高齢化が進み、他の町内との合併も思うように進行できない。（各町の規約、蓄積財産の問題の解決、過去の経緯など。） ・準眼界集落予備軍の町で自治公活動が沈滞気味、更に高齢少子化が進むとどう対応したらよいか？地域に集落支援員が配置されたので協力する。 ・高齢者予備軍が次々と控えており、町内の作業等で力がある作業実施には、やや無理がある。高齢者対策の一環としてそろそろ考えるべきだと思う。 ・この地域は40年前の区画整理による新興住宅地であり、現在、第二世代の帰住者が少なくなり高齢者世帯が増えつつある。そのため、若者の居住者が減り、公民館主催の運動会や各種スポーツ大会及び自治会活動に支障が生じている。 ・以前商店街であったバス通り沿いの住宅の高齢化が顕著である。その中で女性の独居者の増加と空家（家）の増加、総事、雪かきなどの作業が困難である。約60軒あるなかで労力がある件数は10軒程である。若くて活躍できる人数と高齢者の人数とのバラつきが大きく、いつまで高齢者を支えられるか心配である。（独居者32人、福祉協力員9人など。） ・世帯数が少ない上、高齢、一人暮らしの世帯が多い。（町内運営上お世話頂く方少なく困っている。） ・町内会活動に無関心で何事も役員まかせ。このままの状態だと町内会 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治組織を担う次の世代の確保 ・既存の自治組織を超えたコミュニティ支援活動の促進

区 分	内 容	課 題
	<p>の維持運営もままならない。(住民の高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く又子供が少ない。交流会が少ない為人間関係が薄れている。 ・年々世帯数が減少していること。親子が別居→親の老齢化→施設へ転居→子供は帰って来ない。→空家増加 ・町内が知らない間に小学校の自由登校区にされ、町の子供が別々の小学校に通っている。生徒数の少なくなった小学校に市の教育委員会の人に来て勧誘したのが始まりと聞いているが、町内では子供会、校区民活動が大きく阻害されている。 ・独居高齢者が増えて役員のみ手がますます少なく、毎年改選の度に大変である。町内会長の仕事が非常に多く、その為にますます手がなくなり困ってます。(共働きの家族では非常に大変で無理があります) しかし高齢の方に無理をお願いする事もできず困っています。 ・マンション等の入居者や町内会に入らない世帯もゴミは集積所に出されるが、当番活動等はおまかせ状態である。 ・自治体、団体(社協)からの依頼事項が多すぎる。自治会に任せる事が多すぎる。福祉的な事業は本来公共のすべきことと感じる。自治会長は順番で務めるしくみとなっており、無職の人とは限らず勤務しながら自治会の仕事を無給でこなすのは、負担が大きい。自治会の負担を少なくしないと将来的にパンクする。素人には限界がある。(年々負担が増加している) ・配布する文章の依頼が多すぎる。市報他が充実しているので、記載出来る事はまとめてはどうか。急ぐものについては仕方がないが。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み将来町内として機能しなくなる。総数40世帯で75歳以上22名。60歳以上の家族がおられる世帯37世帯 ・持家住宅の子息は進学率が高く、県外へ出れば地元の就職機会が少なく、18~30才あるいはそれ以上の子供をつくれる世代が極端に減少している。現在いる子育て世代は借家住まいが多く、この世代が転居すれば次世代の支え手がいなくなる。高齢者の福祉、受益者のあまえと権利意識が高い事に不安を感じる。 ・中心市街地では高齢化が進んでおり、町内会の役員を確保、維持していくことが将来出来なくなるのではと考える。 ・当町内では子供の数も減少し、数年前に子供会は解消している。 ・老人のみの世帯多数。将来を思うと恐ろしい。 ・若い人材が町内から出ていくことに不安を感じる。老人ばかりの町内になるのではないか。 ・若い方の自治会活動への参加ももう少しあってもよいのではないかと思う。 ・このまま地域の高齢化が進めば、民生委員、在宅福祉、寄付金集め等のボランティア活動ができなくなる。 ・高齢化が進み、世帯は減少していますが、その中でひとり暮らし及び高齢夫婦世帯が増えております。災害時の緊急対応に大きな不安があります。 ・年老いた親を残して別居する子供夫婦の増加。＜対策として＞例えば同居手当を支給するとか、二世帯住宅建築補助金を支給するとか、同居促進を検討してもらいたい。 ・高齢化がすすみ独居の方が増加していくのではないかと思う。 ・現在高齢者の方が多く、また子供は減少し(現在小学生4名)、若い人も少なく中高年以上が多いので、町も衰退していくと考えられる。将来が不安である。 ・準限界集落(55才以上53.9%、65才以上41.7%)が現状で、とくに70代の比率が地区の中で最も高く、5年先を考えると不安である。役所、社協等で自助=共助がさかんにPRされているが、タイミングが難しい。 ・若い人が帰って来ない。ゴーストタウンになる。老人ばかりになり、ゆくゆくは居なくなる。若い者は帰ってこない。 ・後十年もすれば全滅です。現在でも限界集落です。町中老人ハウスの 	

区 分	内 容	課 題
	<p>に肩寄せ合っている姿を想像しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもがおらず、住民がいなくなり、消滅すると思われる。 町内会運営に若い人が無関心。関わりたくないと思っている人が多い。町内会役員になりてが無い。拒否される。 町内会で活動をする意識が薄くなっている。会費だけ払って役員はやりたくない人が増えている。 住民自治の会として頑張ってきたが、もう五年位で町内会が機能しなくなる気がして不安です。 1戸建はほとんどが自治会に加入。マンションは全員加入の所と少数加入、全員未加入といろいろで、その傾向が偏っている。従って諸問題への取り組みが違って来ている。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 年1回の側溝掃除について、町内は高齢者が多くなり、家主不在もあり、若者は減少している、溝蓋を開けるのに力がなく苦勞している。下水道も完備したので清掃は2年1回にしたい。 ある種の”負担”とセットになった”サービス”は要らない。町内会活動は、互いの親睦を深めあい、皆が幸せになるのが本来の目的であるはず。”活動”そのものが”義務感”を帯びて負担になれば本末転倒。行政は仕事の多くを町内会に押しつけていないか？一例として”市報配り”がある。市報はネットで配信し、希望者があれば窓口で個々が取りに行けばよい。 健康に関するニーズが今、年代を問わず、最も高まっています。そこで、自治会単位で実施できる健康促進メニュー（日常的に行える）に対してアドバイザー、インストラクターの派遣や運営補助金の支給を検討してもらいたい。メニューは自治会員のアンケートなどで決定したい。 他町内の行事予定。 	
見 守 り 、 支 え 合 い	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> 独居老人の安否、健康状態。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設が街中にない為独居の方が困っている。→皆が集まって話し合う。 市は名前は良さそうな事業を掲げて次々と何か行動しろ”と言わんばかりに書類を送ってくるが、地元がそれを実施できるような体制づくりをすべき。あれこれと様々な部署が送りつけてくるその総数を各担当は把握しているのか？一方的な押し売りに思われ不愉快。部署間連携すべきだし、地区担当のような調整役の担当課を設置すべき。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も考えれば買い物、食事のサービスが必要。介護福祉面の更なる充実。 独居老人の家庭訪問はあるが、老人家庭の訪問もしてほしい。 警察及び市職員による定期的な地区の見回り。（毎月2回） 福祉施設の受け入れ態勢。 ひきこもり、精神障害等の社会不適應者への対応。 敬老会の出欠等を町内会長に委託するのはどうかと思う。社教のもっているデータで郵送して確認してほしい。 市でやっていただいた認知症予防講座の機会を継続できたことは有難かった。市から引き継いで6ヶ月が経過したが、講座の効果の検証がほしい。参加者のレベルの差を考えながら教材を準備しているが、いつまで続けられるか不安はある。ノウハウ教材提供のサービスを望む。 行政の要求が増加している。さらに役員の後継者が不足しがちで、長く役員を続けると地区全体の世話や責任も増え、増々後継者が出てこなくなる。仕事をしながら役をやる人の数を減らす事はやむをえないが、専任館長の数を減らすことは考えてほしい。何かあると年金生活者が狩り出されている。 保育所、コンビニ、信号機、歩道などの行政サービスも利用していな 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等に対する見守り・支え合いの推進と環境整備

区 分	内 容	課 題
	<p>い高齢者がいます。急に入院などされた場合、孤独死しているのかと不安になる。確認できるサービスを！！</p>	
集いの場	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に自前の集会場がない。 ・集会場（公民館）が無い。 ・地区集会場がなく班長会等の開催に支障がある。 ・集会所の老朽化に伴う修繕や新築の予算がない。この先積立をしても対応できるまでには現在の建物はもたない事が明確な為、対策の打ちようがない。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内に独自の自治会館（プレハブ製、トイレ・水道無し）を所有しているが、底地は民有地であり現在売却予定である。使用頻度としては、月に一回の定例役員会や会員親睦の頼母子（たのもし）もおこなっている。さらに不定期であるが防災会や子供会や老人会及び各種大会の打ち上げ等自由に使用している。施設の老朽化にあわせ移転する考えをもっているが、費用調達がままならない状況である。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、話合える場所が町内にあれば「安否確認」も出来、安心安全な町になる。又小児を含めて子どもも増えつつあるので、公園（小さくても良い）があれば子育ての助けにもなる。（高齢者とのふれあい） ・若者の集まれるような所。 ・自治会単独で使用できる会館及び倉庫の建設費助成金がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な集会所、憩いの場の確保
広場・公園	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内にあるべきはずの公園（子供たちが遊ぶ為の）がなく、住民間のトラブルがおこっている。 ・町内に広場がない。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園がない。（高齢者が集うには必要だと思う。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近（小規模）な広場・公園の確保
防災・防犯	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、道路に不法駐車があり、防犯上問題がある。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が未整備。 ・原発に対して。 ・境港市は津波が発生すると言われているが、避難方法の徹底が図られていない。 ・高齢者世帯（後期）の割合が大半であるが、特に大規模災害時での取組み及び日頃の生活支援の問題。 ・高齢者世帯が進む中での、昨今頻繁に発生する自然災害時の対応について。なお、自主防災組織はあるが、防災部員も高齢化してきている。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の公園管理委託を受けているが防犯灯がなく、防犯面に心配がある。（毎年度要望するが）市は予算がないと回答している。 ・町内への情報伝達のしくみが必要。倉吉市では来春からデジタル化された防災無線機が自治会でも使用できるようなので期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の整備や地域における防災訓練の実施など、地域の防災体制の確立 ・要援護者情報の整備と住民理解
マンション	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い地域にマンション、アパートが五棟もあり、ゴミ・犯罪・マナー等で困っている。 ・住民の年齢バランスがとれていないので、バランスのよい入居計画をしてほしい。 ・マンション住民は氏名、性別、同居家族数不明な人と表札もない方が 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションと地域との円滑なコミュニティの推進

区 分	内 容	課 題
	<p>多いので改めて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンルームマンションの居住者が町内会へ入会しない。又、負担金の負担問題。” ・借家等の住民が自治会加入もしくは組織されないこと。住民の絆が希薄になる。 ・マンションの自治会への未可盟、脱退などがあり、諸問題を周知徹底したい。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5階建て住宅でエレベーターがなく、今でも生活上不便な住民が多いので、将来は益々不便になると思います。 ・マンションに暮らす人は突然いなくなる事があって何処に移ったかわからないままと聞いた事があります。転居先など明らかにしてほしい。 ・マンション（アパート）に入居している人物がどのような人間なのか分からないので不安に思うことがある。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション住民の自治会の加入に公的機関がもっと積極的に関わってほしい。（自治会参加者の負担が大きい。） ・新しいマンションに転居してくる転居屋がいて、その人達は今迄住んでいたマンションに家財を置いたままと聞いたことがあります。このような事が繰り返さない様に転居に”けじめ”をつけて欲しい。転居屋は地域の迷惑になるだけです。 	
居住環境	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等高齢者が日常生活を進めるための店が近くになく、公共交通の利用も不便である。 ・生活用品（食糧品等）の商店が近くになくなり、高齢者は大変不便で困っている ・歩いていける近所に食料品、日用品等を購入する店舗がなくなって不自由になっている。高齢化がすすんでいくので改善が難しい。 ・大型店が地区からなくなり買い物が不便になっている。（家電、本など）以前あった大型店舗にそれに近いお店が入ってくればもう少し活性化してくるのではないかと思う。 ・道路幅が狭く、車の通行が不便。（スーパー等生活物資の調達が大変。） ・高齢化により、買い物困難者が増加してゆく。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者に対する給食、買い物代行サービス。 ・生活必需品の店がほしい。 ・駅の南側は鉄道によって遮断されており町に出るのに大変不便となっている。交通の便も悪く、高齢者、歩行者は買い物等に困っている。だんだんバス等便利な乗り物もあるが、町の中心に近いのに不便である。高齢者、弱者対策を考慮した都市計画を実施してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ビジネスの支援
交通不便	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内には老人世帯が多く、買い物に出かける際にタクシーを利用するなど身体の不自由な人もいて、でかけるのに大変です。他の地域でやっておられる巡回バス（タクシー）など行政で考えてほしいです。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に不便を感じてませんが、あえて言うなら公共交通機関（バス）の乗り入れ。将来高齢化が進んだ時。 ・バスの便が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に合った交通網の展開
空き家	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽家屋が崩壊寸前で放置。通学路でもあり子供達が心配。 ・空き家に野良猫が住みつき、集積ゴミを荒らして困る。解散した商店会が設置した街路灯が管理者不在のまま老朽化して倒壊の恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の処理ルールの整備 ・空き家の再生（機能維持）・除

区分	内容	課題
	<p>が、道路管理者の市が撤去費用を出してくれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数十年に亘り放置されたままの廃屋がたくさんあります。特に道路に面した場所は通行人に被害が及ぶ危険な所もあり心配しております。 ・空き家が多くなり安全性、安心に問題が来ている。管理者不明。市へ相談しても個人財産だからと対応してくれない。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの世帯（65才以上）が多く、このままでは空家が増加していくのではないかと。 ・高齢化の進展によりもっと空家が増えるのではと心配している。（跡取りが居ない→県外居住が多い） <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政は遠慮しないで老朽家屋放置者を取り締まるべき。 ・空き地・空き家の売買斡旋。危険建物の解体指導。 ・空き家を集会所として活用する場合に公的機関の仲立ちがほしい。 	<p>却の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産の流動化
<p>ゴミ ・ 公衆衛生</p>	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の街あそび人口の増加（若者）に伴って、ゴミの置き去りやタバコのポイ捨て、暗がりでの用便等の公衆衛生の乱れへの対応。 ・ゴミの不法投棄が多い。猫に餌を与える人がいるので困っている。 ・町内会の個人所有の空地に犬の糞が多い事。犬の散歩のときリードにつながず散歩させている人を見かける事。 ・不燃物置き場のルール違反が多発している。（前日の夜に出す。収集日以外の物が入っている・・・等）他町区からの持ち出しが。 ・県道の街路樹の落ち葉の掃除。 ・マンション住民のごみ出しのチェック。一部決まりを守らない住民がいること。 ・ゴミが多い。月1回掃除をみんなですしている。植木などが管理されておらず汚い。横の道路に山から木や枝が伸び放題。市役所を通して所有者に連絡したが変化なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治組織を担う次の世代の確保 ・マンションと地域との円滑なコミュニティの推進（いずれも再掲）
<p>除雪</p>	<p>問5-1 地域での困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪。国道53号が除雪される度に路地がふさがれる。（昼間は少数の）現役世代は仕事に従事（外に勤務）しており、早朝は高齢者しか在宅しておらず、自助努力には限界あり。せめて大通りとの交差点だけでも行政が除雪してくれると助かる。 ・積雪時の除雪の際。氷の固まりが脇道をふさぐため、その除去に困っている。 ・近くに商店がなく、お年寄りの日々のお買物が大変です。冬の雪も非常に多く雪かき等もなかなかお年寄り宅まで手が回らない状態である。 ・冬季の除雪がむずかしい。市内でも雪深いところであり、除雪車の予算確保や除雪機の導入（管理等）が難しい。 <p>問5-2 将来への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年前の大雪等の時、除雪等で困った。 <p>問5-3 不足しているサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪の時期になると除雪等、生活道路の確保に苦慮、高齢者宅、除雪等有志ですしているが、市道等除雪をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雪かきボランティア等地域支援活動の推進

(4) データ編

「中心」：中心地区
 「中活」：中心市街地活性化基本計画区域
 「郊外」：郊外地区

1. 自治会（町内会）の状況

問1-1 自治会（町内会）の加入世帯数（サンプル数：206/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 0～49世帯	43	41	24	2	15	13	18	0	89	43.2%
② 50～99世帯	31	26	9	5	17	15	2	1	66	32.0%
③ 100～149世帯	14	10	4	4	6	4	3	0	27	13.1%
④ 150～199世帯	6	5	3	1	2	2	2	0	12	5.8%
⑤ 200～249世帯	3	2	0	1	2	1	2	0	8	3.9%
⑥ 250～299世帯	2	0	0	2	0	0	0	0	2	1.0%
⑦ 300～349世帯	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
⑧ 350世帯以上	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
合計	99	84	40	15	44	35	27	1	206	100%

問1-1 自治会（町内会）の加入者数（サンプル数：111/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 0～99人	19	19	14	0	7	9	12	0	47	42.3%
② 100～199人	16	14	4	2	12	10	0	0	38	34.2%
③ 200～299人	5	2	1	3	4	2	0	0	11	9.9%
④ 300～399人	3	2	0	1	1	1	0	0	5	4.5%
⑤ 400～499人	1	0	0	1	1	1	1	0	4	3.6%
⑥ 500～599人	0	0	0	0	0	1	2	0	3	2.7%
⑦ 600～699人	1	1	0	0	1	0	0	0	2	1.8%
⑧ 700人以上	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0.9%
合計	46	38	19	8	26	24	15	0	111	100%

問1-2 自治会（町内会）総会への参加割合（委任状参加を除く実数）（1つだけ）
 （サンプル数：208/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 8割以上	38	27	12	11	15	8	5	0	66	31.7%
② 半数以上	26	24	12	2	4	13	10	0	53	25.5%
③ 半数未満	33	30	15	3	24	14	12	1	84	40.4%
④ 不明	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
⑤ 無回答	2	2	1	0	2	0	0	0	4	1.9%
合計	100	84	40	16	45	35	27	1	208	100.0%

問1-3 現在の自治会（町内会）規模は、運営上適正規模か（1つだけ）（サンプル数：208/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 適正（又は問題ない）	86	73	31	13	31	28	21	1	167	80.3%
② 小さすぎる	11	10	9	1	8	6	5	0	30	14.4%
③ 大きすぎる	2	1	0	1	4	1	1	0	8	3.8%
④ 無回答	1	0	0	1	2	0	0	0	3	1.4%
合計	100	84	40	16	45	35	27	1	208	100.0%

問 1-3 自治会（町内会）の規模が今の規模となった理由

「理由」の主な記述

（「小さすぎる」と回答した自治会）

- ・駅前開発の時にできた住宅なので前からの住民とおりがあわず。
- ・商店街構成員で組織しているから。
- ・建築物の老朽化、相続人の不定着。
- ・商業地域のため住居の転出、その後のドーナツ化での店舗の減少、若い世帯の転出。
- ・わからないが、一町内単位で活動したのではと思う。
- ・長年我が町内は借家で狭い家ばかりでしたので、若い人はここから出ていき今では高齢者ばかりの町内になっています。
- ・高齢化により施設に入所したり、亡くなったりした為。
- ・跡継ぎが町内に残らないことで軒数が減少している。
- ・町内会始めよりこの数である。
- ・江戸時代初期か少し前に町割りが出来たものと考えられているが、その時から問題と思われる。
- ・道路拡張につき移転などで戸数減少。

（「大きすぎる」と回答した自治会）

- ・街に近い農村地区であった所、区画整理され住宅になり急増した。
- ・市開発公社の宅地造成、旧町の区画整理（道路新設-立ち退き）及び新宅地造成。
- ・マンションの増加。
- ・アパート、マンションなどが加わった。

「自治会運営上の問題点」の主な記述

（「小さすぎる」と回答した自治会）

- ・世帯数、人口の減少、高齢化に伴って一人で何役もの役員を兼業しなければならなくなった。
- ・防災、防犯組織の編成が困難。各種公民館活動等への自治会の参加が困難。公民館への各種役員（担当）の選挙が困難。
- ・隣近所の繋がりがなく行事の参加者も少ないし、参加する人も限られている。
- ・中間層が現役の為、全てを高年齢の人が受け持つ様になるので活力が生まれない
- ・若い人がいません。昨年より総会をすることが出来なくなりました。お年寄りの人ばかりなのでおまかせしますとのことでできなくなりました。
- ・町内人口の減少及び高齢化が進み役員になる人が少ない。
- ・団体行動がとりにくい。（共同作業に人が集まらない。）

（「大きすぎる」と回答した自治会）

- ・意見がまとまらない。
- ・自治会員の把握が困難。
- ・運動関係の大会などは良いが、居住者の掌握が難しく、伝達事項の周知徹底が困難である。
- ・9班もあり連絡が取りにくく遅れやすく、端々の人たちとの交わりが疎遠となりやすい。
- ・自治公役員の負担が多大的に感じる。
- ・総会は場所等から事業上難しい。一戸建て住民とマンション住民は諸問題のとらえ方、考え方が若干異なっている。
- ・配布物の多さ。

自治会（町内会）の適正規模（世帯数）
（サンプル数：31/209）

	県 計	
0～49 世帯	5	16.1%
50～99 世帯	16	51.6%
100～149 世帯	9	29.0%
150～199 世帯	0	0.0%
200～249 世帯	0	0.0%
250 世帯以上	1	3.2%
合 計	31	100.0%

自治会（町内会）の適正規模（加入者数）
（サンプル数：19/209）

	県 計	
50～99 人	3	15.8%
100～149 人	2	10.5%
150～199 人	6	31.6%
200～249 人	3	15.8%
250～299 人	0	0.0%
300 人以上	5	26.3%
合 計	19	100.0%

「自治会との間で共同化することについての対策や話し合い」の主な記述

（「小さすぎる」と回答した自治会）

- ・三町合間で町内役員の三役以外を共有することを検討し、次回総会で決議する。
- ・合併を前提に打ち合わせ、試みに昨年5月合同レクリエーションを試行。しかし9割は65歳以上の女性、双方とも働き手が少なく決裂。
- ・民生児童委員、子供会の隣接自治会との併用。校区（地区）のブロック別編成の検討。
- ・老人クラブを他町と合間で運営すること。地区の運動会などに共同（合同）チームとして参加する事。地区の町内学習会を共同（合同）で開催すること。
- ・子供の人数が少ないので、子供会の行事を他の自治会と共同実施。

問1-4 住民の方からの、自治会（町内会）運営に関する主な意見・提案等

- ・夏季交通安全運動に参加立番致しましたが、交番の警察官は初日だけ顔を出した様ですが、せめて、この交通安全運動期間中は顔を見せ一緒に参加してもらいたい。
- ・高齢者が多く町内会の仕事を免除してほしい。
- ・班の再編。（世帯数の減少、又は高齢世帯ばかりの班から）
- ・レクリエーションを増やしてほしい。
- ・町内会費を現在1世帯で払っていますが、総会の出欠は家族全員に参加が求められます。総会などの出欠も1世帯一人を基本にしてはどうかとの意見があります。検討してほしい。
- ・防災についてもっと知りたい。
- ・中心市街地は年々居住人口が減少しており、町内によっては15～20世帯の町内が地区で6町内もある。運営上又リーダーの不在 etc の問題から近い将来、町内会の合併の検討も必要と思っている。
- ・現在14班であるが、高齢化により運営が難しくなっている班が出てきており、班の再編が求められている。（2班程度）
- ・町内にマンション（60世帯）があり、運営当初から町内会加入を勧めているが、未だに未加入で現在も交渉中です。
- ・役員におまかせで意見も提案もない。
- ・町内に集会場がなく手軽に集まり話し合う場所がない。
- ・自分では協力や努力をしないのに募金や作業について苦情が多くて、それらがもとで足並みが乱れて困る。自分で進んでやらない者は決まった事は反対せず従ってほしい。なにかにつけ文句の多い人は後になって言うので、後になってからでなく当初言えば折り込みずみで建設的に事は進むのに、無視すればしたて物事にイチャモンつけるので困ります。
- ・前向きな意見、提言等が多くあればよいと願っています。（役員会、総会で意見を言う人は殆どない。）
- ・世代を越えた協力体制の確立。特に仕事を持つ若者の参加が厳しく、今後の大きな課題である。
- ・1：高齢化により班の機能が十分でなく、14班を9班に編成替し、世帯数の適正化を行った。（H22年）
2：班ごとに各部員を選任したが、高齢者と女性が大部分であるため、実働出来る部員数に減らした。（9人→4人）
- ・防犯灯（公衆）の電気使用量料、町内会費での支払いであるが、これらは公金での支払いにしては？又省エネ対策を望むのであれば公金で電気のLED化を進めてはどうか？
- ・ゴミ置き場のマナーについて（学生さんが多いので）分別もできていない。（現状は自治会が袋から出して整理している）それに対する不満。
- ・1月総会、トンド祭、7月納涼祭、9月～11月の内にレクリエーション。12月もちつき、その他5月神社礼祭、3ヶ月毎に資源回収、年2回自主防災事業等々。活動は活発に行っているとはいいますが、少子高齢化に伴い人出が不足な事も多々有り、今後の活動が難しくなりそうです。今後人手のかからない事業に変更してほしい意見もあります。親睦もかねなんとか維持したい。
- ・自治会へ調査依頼（特に在命確認など）が頻繁にあるが、市で所有している情報なのに更新されないことがあって調査担当者が困る。それとも市側で職員なり業務委託された調査員なりが責任をもって行うべき。地元は無償でさせようという魂胆が気に入らない。→清掃や除草も有償ボランティアなどが有ると聞く。何故調査業務や管理業務が有償委託ではないのか。
- ・大地震、大災害の災害時対応備品（発電機、照明、担架）の倉庫を早く造って。
- ・全家庭の共益費（水道、共同電気、町内会費）をきちんと払わない人がいる。ガス、電気などは支払わないと止まるが、水道に関しては町内会で全部を合わせて水道局へ払っている為止まる事がなく、それをいいことに水道代をためる人がいる。
- ・現在町内で自主防災会が設立していない為、自主防災会の立ち上げを検討したい。

2. 暮らしの安心

問 2-1 地震等大規模災害が生じる危険に対しての対策や話し合い（1つだけ）
（サンプル数：209/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県 計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている	27	19	7	8	0	5	5	1	38	18.2%
② 話し合いを進めている	19	18	9	1	8	11	6	1	45	21.5%
③ 今後話合う予定	16	12	9	4	22	8	5	0	51	24.4%
④ 特にない	28	25	11	3	11	8	9	0	56	26.8%
⑤ その他	8	8	4	0	3	2	2	0	15	7.2%
⑥ 無回答	2	2	0	0	1	1	0	0	4	1.9%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「その他」の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> ・昼間、夜間の町内人口の把握、要介護・介助者の実態把握・避難所の特定。（市役所、公民館） ・高齢者が多いため共助は期待できないので自分の身は自分で守れるよう伝達。 ・年3回防災訓練を実施。（1回は地区、2回は隣接2町と合同で実施。） ・防災研修を年1回開き、避難方法や防御策を話し合う。 ・自主防災会を作って活動を始めている。（H22. 2月から） ・近隣の町内会との防災訓練。 ・特に話し合いを進めているという程ではありませんが、会合がある折に災害対策については、会員の皆様からそういった話が出る程度です。 ・話し合い終了、自助とする。 ・ビデオ視聴の時町民でいろいろと話し合いを持つ。 ・公民館で開催される講演会、避難所見学会等を総会時に伝達している。 ・消火器の整備、並びに消火訓練の実施。 ・横のつながりは少なく、テナントがかなり多く、特に話し合いがしにくく、今後話合うようにしたい。 ・地区の災害時避難訓練に合わせ町内単独で参加（今年2月）、中学の多目的教室に避難（参加40人、幼児～老人）、災害時対応の学習講演会（毎年）、消火防水訓練（毎年）。津波、大水害時には市営住宅に避難できるよう、方法を示してほしい。
--

問 2-2 自治会（町内会）区域での空き家の有無（1つだけ）（サンプル数：209/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県 計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① ある	82	68	31	14	42	33	21	2	180	86.1%
② ない	17	15	9	2	3	2	6	0	28	13.4%
③ 無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

→空き家の現在の状況（いくつでも）（問2-2 空き家が「①ある」の場合）
（サンプル数：179/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活		中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 所有者又はその家族が分かる	58	50	25	8	35	24	16	1	134	43.5%
② 空き家となっている理由が分かる	45	34	16	11	24	25	15	1	110	35.7%
③ 近隣・自治会・行政などとの協力関係が構築されている	4	4	3	0	7	4	0	0	15	4.9%
④ 所有者や空き家の理由などが全く不明	15	14	6	1	6	10	2	0	33	10.7%
⑤ その他	6	5	2	1	4	3	2	0	15	4.9%
⑥ 無回答	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
合計	129	108	53	21	76	66	35	2	308	100.0%

「その他」の主な記述

- ・現時点では都会で生活、退職には帰る予定。
- ・経済的に売却したい。
- ・所有者が分かっている物件と不明な物件とあるが、古い物件が多い。
- ・葬儀等に自治会が関与した時は聞けるが、その他は事情があると思って聞けない。
- ・不動産屋の看板あり。（売家）

→空き家に対する自治会（町内会）としての評価（1つだけ）（問2-2 空き家が「①ある」の場合）（サンプル数：179/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活		中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 活用の可能性があるなど、何らかの価値がある	18	16	5	2	11	13	4	0	46	25.7%
② 価値がない	20	18	11	2	18	8	7	1	54	30.2%
③ 分からない	40	31	13	9	13	12	10	0	75	41.9%
④ 無回答	4	3	2	1	0	0	0	0	4	2.2%
合計	82	68	31	14	42	33	21	1	179	100.0%

→評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合の理由（いくつでも）
（サンプル数：46/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活		中活	中心	中心	中心			
		中活	郊外							
① 地域の中で何らかの役割を果たしている	0	0	0	0	1	3	0	0	4	7.8%
② 損壊がそれほどでもなく、利活用の可能性がある	16	14	5	2	10	11	3	0	40	78.4%
③ その他	2	2	1	0	1	2	1	0	6	11.8%
④ 無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2.0%
合計	19	17	6	2	12	16	4	0	51	100.0%

「その他」の主な記述

- ・若い人に売ってほしい。
- ・公共資金を使い福祉施設に活用。
- ・集会場として活用できないか検討中。
- ・1戸建に対してはある程度外観など改修すれば価値が上がるのではないかと。当町内会地域は地の利が良い。
- ・借家として空家になっている。

→空き家を建物として活用する場合の活用方法（いくつでも）（評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合）（サンプル数：46/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 新たな住民の同居	12	11	2	1	9	11	4	0	36	47.4%
② 食料品・日用品の店舗	1	1	1	0	2	1	0	0	4	5.3%
③ 食堂・レストラン	1	1	1	0	0	1	0	0	2	2.6%
④ 喫茶店	1	1	1	0	0	2	0	0	3	3.9%
⑤ 地域の方々の交流の場	6	6	1	0	4	3	0	0	13	17.1%
⑥ 子育て活動の拠点	1	1	1	0	1	1	0	0	3	3.9%
⑦ 福祉活動の拠点	2	1	1	1	2	2	0	0	6	7.9%
⑧ 美術・芸術活動の拠点	1	1	1	0	0	3	0	0	4	5.3%
⑨ 特に考えていない	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1.3%
⑩ その他	1	1	0	0	0	2	1	0	4	5.3%
⑪ 無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	27	25	10	2	18	26	5	0	76	100.0%

「その他」の主な記述

- ・若者向きのカジュアル雑貨、ファッション系の小店舗が面白いと思います。
- ・イベント時の会場（休憩場）。

→評価が「②価値がない」の場合の場合の理由（いくつでも）（サンプル数：54/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中活	郊外	中心	中心	中心				
				中活						
① 地域の中で何も役割を果たしていない	7	6	3	1	10	6	4	0	27	28.4%
② 損壊が著しく利活用が困難	10	10	6	0	10	5	4	1	30	31.6%
③ 危険	3	3	2	0	7	1	2	0	13	13.7%
④ 犯罪の温床になる恐れ	0	0	0	0	3	0	1	1	5	5.3%
⑤ 不衛生	2	2	1	0	6	1	1	0	10	10.5%
⑥ その他	4	2	2	2	2	2	0	0	8	8.4%
⑦ 無回答	2	2	1	0	0	0	0	0	2	2.1%
合計	28	25	15	3	38	15	12	2	95	100.0%

「その他」の主な記述

- ・持ち主と話し合うとしても具体的な利用用途が今のところ考えられないから。
- ・窓がこわれ、のら猫の住み家となっている。
- ・売り出し価格の問題
- ・ホームレスの人がたまに住んでいる事もあり。火の始末が心配です。

→空き家を解体して土地として活用する場合の活用方法（いくつでも）（「②価値がない」の場合）
（サンプル数：54/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無 回 答	県 計	
	中心		郊外	中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 地域の方が集う 広場	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1.4%
② 公園	1	1	0	0	1	0	0	0	2	2.9%
③ 駐車場	5	5	4	0	4	2	1	0	12	17.1%
④ 隣家への売却	9	9	6	0	2	3	0	0	14	20.0%
⑤ 特に考えていな い	7	6	4	1	10	6	4	1	28	40.0%
⑥ その他	2	2	1	0	2	1	3	0	8	11.4%
⑦ 無回答	2	1	0	1	3	0	0	0	5	7.1%
合計	26	24	15	2	23	12	8	1	70	100.0%

「その他」の主な記述

- ・何の役にもたちません。
- ・畑。
- ・持ち主が遠方にいるので、この事に関しての問い合わせはしていません。

3. 生活環境（交通・店舗・医療）

問3-1 地域における、過去10年間の公共施設・サービス等の変化

①事業所（企業、役所等）（サンプル数：31/209）

	県 計	
-15~-11 社・所	1	3.2%
-10~-6 社・所	2	6.5%
-5~-1 社・所	20	64.5%
0~4 社・所	6	19.4%
5~9 社・所	1	3.2%
10 社・所以上	1	3.2%
合 計	31	100.0%

②バス路線（サンプル数：47/209）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2社が1社に減。 ・ 100円バスの停留所が3か所に増えた。 ・ 本数減。 ・ 市営100円バスにより便利。 ・ はまる一歩バス（100円）の新設により非常に良くなった。 ・ 1日のバス運行が1/3に変更された。 ・ 停留所1か所廃止。 ・ 100円バスの停留所が出来た。

③スーパー（サンプル数：32/209）

	県 計	
-2 店舗	3	9.4%
-1 店舗	14	43.8%
0 店舗	2	6.3%
1 店舗	12	37.5%
2 店舗以上	1	3.1%
合 計	32	100.0%

④コンビニ（サンプル数：29/209）

	県 計	
-1 店舗	3	10.3%
0 店舗	1	3.4%
1 店舗	22	75.9%
2 店舗以上	3	10.3%
合 計	29	100.0%

⑤医療機関（サンプル数：22/209）

	県 計	
-6~-5 医院	1	4.5%
-4~-3 医院	0	0.0%
-2~-1 医院	13	59.1%
0~1 医院	7	31.8%
2 医院以上	1	4.5%
合 計	22	100.0%

⑥銀行（サンプル数：20/209）

	県 計	
-2 店舗	2	10.0%
-1 店舗	11	55.0%
0 店舗	2	10.0%
1 店舗	4	20.0%
2 店舗	0	0.0%
3 店舗以上	1	5.0%
合 計	20	100.0%

⑦郵便局（サンプル数：5/209）

	県 計	
-1 局	3	60.0%
0 局以上	2	40.0%
合 計	5	100.0%

問3-2 その他、過去10年間の地域の大きな変化

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・所帯数の減、子供の少数化。 ・若い人が町内から減っている。 ・県住がなくなった。 ・マンションの新築（48戸） ・久松閣、いなば荘の解体後、雑草地になっています。この土地を公園にするとか老人住宅にして1階にスーパー、衣料品店等が建設されればいと望んでいます。 ・田んぼ→アパート、マンション。 ・農地や空地であった土地がマンション等の建物になっている。 ・空地が増えた。 ・食料店、スーパーマーケットなどがなくなってしまった。歩いて買い物するところがなくなった。
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の減で駐車場の利用がなくなったり、人通りがなくなったり、大きく変化した。 ・過去10年では大きな変化はないが、今後10年では空き家、居住者が30世帯のうち3割弱ぐらい減すると予想できる。 ・高齢化と人口微減少。店舗の減少あり。芸術祭等の活動により町民のつながり強化される。 ・町内の若桜街道側店舗のテナント含め入れ替わりが多い。 ・確実に高齢化が進展している（加入世帯の減少）。新生児なし、独居高齢者の増と死去、自宅療養高齢者の増。 ・空地の貸駐車場の増。 ・本通り、パレットとっとり、スーパー。 ・社宅、寮跡地に合計9軒の新築有り。子どもが増えた。一方高齢化に伴い空家も増えている。 ・高層マンションの建設により景観が悪くなった。 ・スーパー等の日用品販売店がなくなり、特に車のない家庭においては、食料品をはじめ日用雑貨の購入に大変困難が生じている ・分譲マンションが建設された（65室）。ワンルームマンションが建設された（100室）。 ・環状道路工事、千代橋かけ替えで立ち退きが進み、従来の戸数の1/3以下となった。
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームが3つとなった。町内会に加入している。 ・9号線バイパス。 ・一戸建て住宅、集合住宅ともに急増。（世帯数、人数の急増） ・地区体育館が設立された。
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の減少。 ・10年以上前（平成2年ごろ）持ち家を不動産屋に売って校区外に出られ1600㎡の空き地が出来た。 ・車の渋滞が増えた。 ・生活協同組合スーパー百科店→大規模駐車場、銀行→カフェレストラン、薬店→複合商業ビル、書店→複合商業ビル、民家→ミニ美術館（画廊）、民家→薬局。 ・近くのスーパーが閉店した。 ・3年前、酒屋の後にパチンコ店が出店。 ・道路は新設されたり、川幅は広がるが、地元町民への恩恵は少ない。 ・銀行跡地に三階建ての学生マンションが建築中である。 ・世帯数減少のため自治会への加入世帯が減っている。マンションが建設された。 ・防犯カメラの設置。 ・N T T、デパート等の人員減による町内店舗の減少。 ・島根県から港に竹の子売りの舟が出入りして、盆栽や花や切り花売り、梨や果物売りで賑やかだった。乗用車が普及してからはそれ等の商人達も高齢化により代わりして跡継ぎ者が無く、自然と廃業してしまって今は無くなっていった。 ・大規模ホテルの新規建設による開店。 ・空家が増えた。新たに新築マンション建設中。 ・町内で大きかった小売店が廃業された。ガソリンスタンドも一社閉店した。 ・平成23年にシニアマンション（74室）が建設された。（中心市街地活性化事業として） ・高齢化。

		<ul style="list-style-type: none"> 区画整理後で家は比較的新しいが、後継者がなく空家が目立っている。 店をたたまれて、その後借りてがいなく、そのまま空店舗になっているところが数カ所ある。 米子駅前より国道180号線の拡充。 テナント、ホテルの増加により自治会の加入率が減った。 過去に喫茶店がありました。15年前に閉店し、あとは食堂関係が無くなりました。
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者夫婦、独居者が多くなった。子供の数が少なくなっている。(特に幼児)古い家屋が取り壊され空き地へ。 銀行の移転。スーパー、病院の廃業。又、家具店、美容院、食堂、クリーニング等の廃業が相次ぎました。 郊外が開発され、ドーナツ現象が起こり、旧市街地は過疎化が進み、住宅と人口が激減していった。 世帯の減少と高齢化進展。 東町公民館を建設したこと。 少子高齢化による人口の減少。 少子高齢化が進行し、高齢者のみの世帯が増加し、又空家も増加した。建物を解体し、多くが駐車場へと転用されている。 空地の増加。 コンビニ、ドラッグストアなど2店舗が開店し、町として便利が良くなった。 1：大型商業施設が出来た。2：老人施設が出来た。(デイサービス) 3：ワンルームマンションが初めてできた(2F建て18室) 人口減、空き店舗の増。 住民の高齢化及び児童数の減少。 男性の減少が顕著。独居の高齢化が多い。未婚者が増えた。新築アパートに子育て世代が増えている(職場が安定している人)。県外から親元へUターンした世代が2世代増加。近所又は同居の祖父母が育児に協力している家族がある。親の近くに子供夫婦が集まっている。 個人商店の閉鎖。(空き屋のまま、あるいは駐車場) 外観的には大きな変化なし。静かに高齢化、少子化が進む。地場産業的な製造業(豆腐屋、こんにゃく屋、パン屋、菓子屋及び店舗)が次々となくなった。 大きなスーパーが閉店してしまい、不便だ。
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> 新築が12軒有。 鳥取県西部地震以来、白地が増加した。 少子高齢化が進み、後期高齢者(75歳以上)が78名にも増え、また30~50歳の人著しく減り、町内活動の無気力、無関心、防災への心配が増している。 子供の減少、空き家の増加が加速している。町内の何とか屋さんの減少、巨大スーパーの増加で買い物難民の増加。 近くのスーパーが閉店した為、お年寄りの買い物に不便がおきている。 水木しげるロードの来訪者が大変増えた。 保育園の閉鎖・さかいみなど荘の閉鎖。 1：屋外で遊ぶ子供の声がかえなくなった。(子供の遊びの変化も影響あり。) 2：老人には買い物が不便になった。(特に独居にはきびしいと思う。) 3：隣保に対する考え方が昔より希薄になりつつある様な気がする。 二階建ての6~8戸入居のコーポができた。 町内の人達が少なくなるばかりです。 1：居住者の減。2：駐車場と空地が増えている。 アパートの増加。

問3-3 交通・買い物・通院等に関する対策や話し合いの有無(サンプル数:208/209)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中心		中心	中心	中心				
		中活	郊外	中活						
① ある	14	12	7	2	4	2	1	0	21	10.1%
② ない	74	62	30	12	38	31	25	1	169	81.3%
③ 無回答	12	10	3	2	3	2	1	0	18	8.7%
合計	100	84	40	16	45	35	27	1	208	100.0%

「その他」の主な記述

- ・だんだんバスの右回りと左回りと大外回りを考えて。
- ・バスが主要道路しか通りません。市道など（10人程度）を小型バスを運行していただければといつも話します。
- ・食品店が遠くなって、車の使用が必要となっている。
- ・通学路の安全性に不安。
- ・近所（老人が気軽に徒歩で行ける範囲）に生鮮食品が買える店が少ない。
- ・移動販売の利用。
- ・米子市のだんだんバスで通院や買い物に便利になった。本当に助かる。高齢者にとって市内中心部に行くのにとてもいい。
- ・公共交通の市内循環バスの本数を増やしてほしい。
- ・スーパーの復活
- ・循環バスのコース変更を。（検討出来る限り近隣周辺までの延長を）
- ・ボランティア（町内の若い人を中心に）で除雪作業を行い、救急車や消防車等緊急事態に対応出来るようにしたい。当然住民の交通の安全も！！
- ・高齢者が買い物できるスーパーが少し遠い。
- ・買い物では衣料類の販売店がないので、特に老人にとっては不便である。

4. コミュニティ

問4-1 自治会（町内会）区域での固有の文化的遺産（伝統芸能、祭など）の有無
（サンプル数：209/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	中心		中心	中心	中心	中心			
中活		中活	中活							
① ある	37	28	13	9	18	19	4	0	78	37.3%
② なくなった	11	11	5	0	3	4	1	0	19	9.1%
③ 元々ない	46	40	20	6	24	11	22	2	105	50.2%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「ある」の場合の主な記述

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・聖神社の祭。 ・子供の祭、納涼祭。 ・1：5月に麒麟獅子舞。 ・2：8月に納涼祭（2年に一度） ・火伏神社例祭。江戸時代ナベ、カマを製造していたが、仕事の性格上火を扱うため火事が再三発生したようで火、を治めるといった願いからその名が由来したと聞いている。毎年6月の第1日曜日が本業で、前夜祭には子供達のちょうちん行列を行っている。火伏神社奉賛会を設立して合同して祭事を行っている。 ・大森神社、例大祭。（子供神輿、サカキ） ・栗浜神社の祭りは行っていますが、昔はにぎわっていましたが町がすたれて現在はほぞぼぞと祭り事をやっています。 ・吉方稲荷神社例大祭毎年（8/1～2） ・岡崎邸。現状のままだと危険な家屋であると思う。必要部分の移設保存が望ましい。
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> ・片原神社。 ・芸術祭。 ・五臓圓ビル。 ・長田神社の夜祭り。 ・屋台。 ・隔年開催の聖神社幸祭に町内として屋台参加。参加協力者、子供の減少で困難になっている。

	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> ・白兔神社春祭り、川下神社夏祭り。 ・獅子舞、石釜漁。 ・しし舞い、はねそ踊り、盆踊り。 ・地域独特の特別な祭はありませんが納涼祭はあります。 ・春祭り、秋祭り。
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨御祖神社の春、秋祭。 ・加茂神社祭。 ・地蔵まつり、加茂川まつり。 ・旗ヶ崎神社（荒神さん）で春夏秋に祭があつて賑わつたが、近年は境内で遊ぶ事の禁止や祭も寂しくなつて祭の日に店も出なくなり、最近では寄付集めだけに頼つていて有名無実の存在となっている。そのうち無くなるのでないか。外で遊ぶ事が出来ず、家の中でテレビゲームやマンガとゆがんだ環境で育つた子供はいじめや陰湿な性格を持つ様にならないか。子供達をもっと自然のなかで自由に遊ばせてたくましく育ててやりたい。もともと寺や神社はそんな地元民の為にあつたやに思う処です。 ・旗ヶ崎神社境内にて稲荷祭（初午）を自治会にて行つています。 ・正月のとんど祭を近郊3町で合同で毎年やつている。 ・自治会の主催により毎年8月23日地蔵さん祭りを開催する。 ・4/21 お大師さん祭、8/23 地蔵祭、5/28 荒神様祭、7/15 祇園祭。 ・毎年深浦神社による子ども神輿巡行。 ・七夕神社、文化資産としては「後藤の屋敷」。 ・無形文化財、米子盆踊り。
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・河原町地蔵祭り。 ・天満宮夜宮。（天神様をまつた夜のお祭り） ・とんど祭。 ・長谷の観音市賀茂神社の例大祭、倉吉打吹まつり。 ・奉塔さん夏祭。僧侶のお経と町内会と子供会での夜店。 ・天神祭。（毎年6/30） ・住吉神社の夏祭。秋祭みこしが出る。 ・町内神社の夏、秋祭り。 ・今年8月盆ごろにそうめん流しをしている。 ・木山神社夏祭。 ・花宮神社、子供天満宮、夏祭りを開催。（7月中旬頃）子供神楽巡行、ソーメン流し、夜店、輪踊り。 ・金毘羅宮、天満宮（7月9日）、子供みこし（10月11日）、打吹まつり屋台（山車）巡行（8月4日）。 ・伝建群に指定された。 ・稲荷神社の夏祭り（夜店）。住民の寄付により盛大に行う。八幡神社の秋祭に町の子供みこしが巡行する。子供みこしは宝くじの補助により入手。
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・聖大祭。 ・船玉神社、諏訪神社秋祭り。船玉神社、諏訪神社左義長祭。 ・正月明けに「とんど祭」を実施。

「なくなった」の場合の主な記述

<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりを8月に、子供みこしを10月に行つていた。しかし、まつりを準備する要員が減少。（若い人が手伝えなくなった。）皆さんが止めることに賛成したため。子供みこしも子供の減少と保護者の協力が難しい為。 ・旗ヶ崎神社（灘町荒神さん）の子どもみこし。 ・栗溪神社の祭礼の際に小さな屋台を出していた。屋台は残している。 ・今年より総会にて夏祭は廃止となった。 ・子ども天満宮をしていたが、子どもがいなくなつて祭が出来なくなった。 ・子供みこし→子供数の減少でかつぎ手が足りなくなった為。 ・小さな神社が近くにあり、以前は子供会で絵を提示したり手作り神輿を担いだりしていたが、20年位前からなくなった。 ・町の分割により子供の夏祭りが無くなった。 ・片原神社の祭り。子どもたちの減少により屋台を出す祭りが出来なくなつている。
--

- ・老人会組織支柱がなくなったり、活動目標を失った。
- ・麒麟獅子舞の伝承は断えて乏しいが、面・太鼓等の用具類は町内会で保存している。

問４－２ その他、住民同士の交流を推進するための地域資源やグループの有無
(サンプル数：209/209)

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① ある	34	26	16	8	15	17	12	1	79	37.8%
② ない	59	52	22	7	30	17	14	1	121	57.9%
③ 無回答	7	6	2	1	0	1	1	0	9	4.3%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「ある」の場合の主な記述

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会サロン、青壮年会。 ・公民館中心の活動に各自が協力参加している。 ・集会所を利用し美術展、作品展の開催。(老人クラブ中心) ・公民館主催の各種講演会、催し同好会への出席。地区体育会等への参加。 ・大森神社祭り(獅子舞さかき台かつぎ、子供神輿)、町内運動会、子供会各行事、町内会レクリエーション(各年)、納涼祭(各年)、カラオケ(老人会、毎週1回)、体育会行事参加、体育会慰労会(各種目)、体育会麻雀大会(年1回)。 ・南町公園の月一度の清掃、草取り。 ・年1回の親睦会(ボーリング、グランドゴルフ、旅行)。総会後の懇親会。 ・廃品回収などやっている。(町内会) ・婦人会やおやじの会などがある。
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿野街道振興会の若者中心に色々活動している。 ・住民同士の交流を推進するために週に1回「お茶飲み会」と称してマージャンをしたり食事会を催したりしている。15年くらい続いている。 ・本町公園にて春の観桜会と秋の月見会(芋煮会)。 ・夜回り。(火の用心) ・川端界限活性化協議会。 ・地区の各団体の活動と文化サークルが公民館を利用し活動している。 ・納涼祭等町内イベントを実施。町内交流を積極的にしようとしている。高齢者(女性)の仲良しグループ(10名弱)が定期的な楽しみ会を持っている。 ・子供会、老人クラブ、隣保(8班)の班長制。 ・自警団、防犯会、老人クラブ(泉会)等。 ・月1回会員同士が集まり、町内会や地域んことなどを話し合う会、資源回収などを行う会を続けており、町内会と表裏一体で活動している。 ・防災訓練、なかよし会(2回/年)、バーベキュー大会(1回/年)。 ・リサイクル活動、廃品回収(年4回) ・自警団、体育会、子供会、女性の会、老人会。
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの集まるサロン。 ・囲碁クラブ、貝がら節保存会。 ・生花、ゴルフ。 ・白兔獅子舞保存会。 ・交流会を班別に実施。 ・子供会、壮年倶楽部。 ・地子連、ぜにだっこ、公民館祭りなど実行委員会がある。
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ、カラオケグループ有り。 ・公民館活動、他自治会とのサロン会。 ・グランドゴルフ同好会、囲碁同好会、生花グループ等、サークル活動はある。 ・加茂川の清掃活動及び花壇の管理。 ・子供会、婦人会、青年会、老人会。

倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの町内には敬老会という名のグループはありません。入会を嫌がる方が多いからです。そのため別の名をつけて活動しています。60歳になったら自動的に入会して町内行事、研修会等で高齢者の方の介助もしています。そのため参加者が大変多いのです。 ・自治会活動とは別口で、好きなことを企画して酒を飲む会が中心となって子供神輿をあげる。 ・町並保存会。 ・民生委員と福祉協力員、青年団（50歳以上が主）、老人会、お茶の会、高齢者有志の体操教室、認知症予防の会 ・いきいきサロン、しめなわ作り、料理講習会。 ・井戸端会議的なつどいを月1回開催している。 ・何町内かでまとまった老人クラブ。 ・高年会、高年女性会、囲碁の会。 ・高齢化率41%と高く、「認知症予防教室」受講後、H24年3月から「いきいきクラブ」を立ち上げ、勉強会を1回/月開催している。 ・高齢者のサロンがあり、月1回集会をしているグループがあります。（10～15人位） ・今年より高齢者向けのニコニコサロンを始めた。現在は月2回実施している。（会員約20人） ・自治公民館主導で祭り好きな人を集め実行委員会制で町夏祭りを実施している。 ・女性を中心とした”いきいきサロン”。 ・認知症予防講座を市の主催から引き継ぎ、1回/週のペースで自主的に開催している。（館長、民生委員、社会部長、女性部長などが企画運営に参画している。）老人クラブ、子供会への補助と事業の協力。
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・1：子供会…小学生を対象に近隣の自治会で子供会を結成し各種行事（運動会、祭、クリスマス会等）に参加している。各自治会が一部を支援している。 ・2：サークル活動…個人的に市や趣味のサークル等で活動している人もいる。 ・運動会、グランドゴルフ、ゲートボール等。 ・花いっぱい運動を実施。各家庭の通路沿いにプランターを2つづつ飾り付けしており、年2回全員で植え替え作業をしてコミュニケーションを図っている。 ・魚のフィギュアの形の置物を設置している活動（魚名、あご、ひらめ、マツバガニ他）。元気みなと商店街を立ち上げて只今活動中。「うまいもん朝市」を月2日実施中。 ・焼肉大会を行っている。 ・聖大祭で町外へ出ている。若者の参加、老若、子どものコミュニケーションの場となり、唯一のアイデンティティーの確認の場となっている。 ・総会等で話し合いをしている。

問4-3 内外問わず住民同士の交流を推進する取り組みについての意向（サンプル数：209/209）

	鳥取	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
		中心		郊外	中心	中心	中心			
			中活		中活					
① 既に取り組んでいる	21	18	12	3	11	11	5	0	48	23.0%
② 今後取り組みたい	6	6	3	0	7	4	3	0	20	9.6%
③ 特に取組もうとは思わない	30	19	9	11	12	9	12	2	65	31.1%
④ 分からない	34	32	14	2	11	8	7	0	60	28.7%
⑤ 無回答	9	9	2	0	4	3	0	0	16	7.7%
合計	100	84	40	16	45	35	27	2	209	100.0%

「既に取り組んでいる」又は「今後取り組みたい」の場合の主な記述

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・転勤族（公務員が多い）が入居してこられたら、積極的に声をかけ行事参加をうながし、和を大事にしている。大変喜んでおられる。 ・3町内で自主防災をおこなっている。 ・地区自治連合会、福祉協議会、まちづくり協議会等が中心となり、色々のイベント作成事業等があり活発に運動している。 ・グランドゴルフなどを通して他地区との交流を推進したいと考えているが、メンバーが限られ人数が少ない。 ・子供から老人まで気楽に集いすごせる空間づくり。河川、道路、公園を使いやすく安全にして集い易くするなど。 ・夏には納涼祭を、新年には新年会を催して交流をうながしている。 ・桜まつり（4月）、新年会（1月）、春秋一斉清掃、防災訓練（年2回）等を通じ交流及び助け合いムード作りになっていると思う。 ・共通の趣味を通して交流を図る。
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> ・防火訓練等の事業とその後の話し合い等。 ・毎年、花見、納涼祭のどちらかを実施している。町内会以外の近隣マンションに居住する主に小中学生も参加している。 ・聖神社祭参加、川端ジャズアーケード 2012 春、川端サマーコンサート 2012、ストリートパフォーマンス 2012 川端通り、川端ジャズアーケード 2012 秋。 ・地区のまちづくり協議会で「お年寄り」「子ども」「にぎわい」の三部会に分かれ、年間行事計画を進めている。 ・春・秋の防災訓練を近隣3町で実施している。これを機に交流、懇親に今後取り組みればと思う。 ・芸術祭。 ・町内会で納涼祭を実施（年1回）しているが、今後の方策として近隣町内を巻き込んだ広域で大規模なまつりを行いたい。 ・公園の月1回（4月～12月）の清掃活動。
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフクラブ。10年くらい前より他にも働きかけをしているが、思うように進まない。 ・体育の日に運動をかねて老若男女集まり食事しながらコミュニケーションをしている。 ・懇親会、いきいきサロンなど。
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・下町のまちづくりの会。 ・町内運動会、グランドゴルフ大会、婦人部の勉強会。 ・特にそのためにという意味ではないが、町内の新年会、総会、婦人部のレクリエーション、一斉清掃等の行事を宜して交流の機会を持っている。 ・校区運動会への積極的参加。参加者に対し昼食を無料で配布。運動会后、懇親会。（バーベキュー、運動会不参加者も含む。本年で4年目、人数増加傾向。） ・校区民運動会への参加。年1回の全戸対象の懇親会。地藏祭の実施。一斉清掃の実施。 ・毎年花見会を開催し、住民同士の親睦をはかるとともに公民館活動への積極的な参加を呼び掛けている。（納涼フェスティバル、運動会、公民館祭等） ・自治会のレクリエーション。運動会、公民館祭の参加。 ・テナント事業者の自治会加入促進、情報交換。 ・子供達に太鼓を教えて祭を盛り上げ地域の名物に育てられれば荒神太鼓として盛り上がる力になる。今子供太鼓や女性の女太鼓、娘太鼓が地域おこしに人気を集めているが、勢いのある荒神太鼓がひと役買う力にならないかと夢見ている。 ・校区民運動会終了後の飲み会等を開き、懇親を図りたいと思っている。 ・防災訓練。
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・町内にある老人福祉施設との交流が行われている。 ・三町合同による地域の運動会への参加。 ・運動会の終了後、3町内の交流会を行っている。 ・自治公民館の各部の事業への参加を呼びかけている。災害避難訓練を毎年行い、一人一人を大切にすることを育てている。 ・今年よりニコニコサロンを始めたが、予算的な問題あり。今後町としては応援していく。

境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街のため貸店舗を借り、開店する店は必ず自治会に加入して頂いている。 ・夏祭り、定期的な公園の芝刈りをしている。自治連合会のスポーツ、運動会に参加している。 ・夏のバーベキュー懇親会、秋の地区運動会への参加、秋の地区文化展への参加。 ・隣接する町会と何かにつけて合同で集まり、焼肉パーティー等を行ったりしている。更に活性化させたい。 ・グランドゴルフ大会。(小学生から高齢者までを含めて行う。) ・高齢者に主体的に活動してもらうようなものがないか考慮しているが、良案が浮かばない。 ・隣接町内会と合同の一日旅行。
-----	------	--

問４－４ マンション等の地域の自治会（町内会）への加入状況（いくつでも）（自治会（町内会）区域にマンションがある場合）（いくつでも）（サンプル数：123/209）

	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心			
		中活		中活					
① マンション等が単独の自治会（町内会）となり、各入居者が加入している	5	4	2	1	1	0	0	7	4.5%
② マンション等が自治会（町内会）の班となり、各入居者が加入している	9	7	4	2	6	6	2	23	14.6%
③ マンション等 1棟で自治会（町内会）に加入し、各入居者は自治会（町内会）員となっている	15	15	7	0	4	1	2	22	14.0%
④ 入居者が任意に加入している	17	15	6	2	9	5	5	36	22.9%
⑤ 加入していない	31	28	11	3	26	6	3	67	42.7%
⑥ 無回答	1	1	0	0	1	0	0	2	1.3%
合計	78	70	30	8	47	19	12	157	100.0%

問４－５ マンション等で地域の自治会（町内会）との連絡窓口になっている方（いくつでも）（サンプル数：123/209）

	鳥取			米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心		郊外	中心	中心	中心			
		中活		中活					
① 管理組合の理事長（又は理事）	4	4	4	0	1	0	0	5	3.7%
② 管理人（又は管理会社）	26	25	11	1	15	4	5	50	37.3%
③ いない（又は連絡先がわからない）	16	14	8	2	11	4	3	34	25.4%
④ その他	17	12	5	5	9	10	2	38	28.4%
⑤ 無回答	3	3	0	0	1	0	2	7	5.2%
⑥ 管理組合の理事長（又は理事）	4	4	4	0	1	0	0	5	3.7%
合計	66	58	28	8	37	18	12	134	100.0%

「その他」の主な記述

- ・町内会に入会の役員。
- ・小学生がいて子供会に入会している人。
- ・町内に店舗を持ち、住居としてマンションを購入した住民。
- ・町内会に加入入居者へは回覧版で連絡。
- ・小学校に在籍している子供さんの親。
- ・マンション班の班長。
- ・マンションの住民が代表を作り連絡窓口になっている。しかし全て（3か所あり）のマンションではない。
- ・マンションの人も自治公民館に加入して班長が世話をする。
- ・マンションは自治会に加入していないので町としては無視している。
- ・公営住宅も一般住宅も特別なにもしないで連絡している。
- ・毎年、交代制で決定している。
- ・市営住宅2棟で1つの町内会になっている。

問4-6 マンション等入居者と地域住民の方との近所付き合いの今後のあり方（1つだけ）
（サンプル数：123/209）

	鳥取				米子	倉吉	境港	無回答	県計	
	中心	郊外		中心	中心	中心				
		中活		中活						
① 大いにあった方がよい	18	14	9	4	9	7	6	0	40	32.5%
② 多少方がよい	28	25	11	3	17	6	5	0	56	45.5%
③ 必要ない	9	9	5	0	7	2	1	1	20	16.3%
④ 無回答	5	5	0	0	2	0	0	0	7	5.7%
合計	60	53	25	7	35	15	12	1	123	100.0%

「大いにあった方がよい」「多少はあった方がよい」の場合の主な記述

- ・町として均等に接する事が出来る。
 - ・自治会員の把握が出来ない。
 - ・町内等の催しに参加していただきコミュニケーションがとれる。
 - ・全く交流がなく、川土手の清掃、防災協力など現状では地域をカバーしているので、協力体制をとっていきたい。
 - ・回覧も行かないし、県・市等の情報も周知できない。
 - ・狭い地域で共に暮らしているもの同士、当然の事と考える。
 - ・天災的な事故のあった時に、又火災でも助け合いを必要とした時等、付き合いは絶対必要と思う。住んでいる人が何人かわからないでは、救える命も救えないから。
 - ・地域の中に空白部分は出来るだけない方が良い。防災、その他で。
 - ・高齢化が進み、公営住宅入居者のみでの高齢世帯への対応はむずかしい。地域住民の助けがないと無理である。
 - ・ゴミ出し等のルールを共有でき、不審者等にも対応できる。
 - ・交流により活性化が期待できる。
 - ・防災、ゴミ出し、安否確認など相互連携が望ましい。
 - ・そう思うが、入居者は県外の人が多く勤務も多く実質交流は難しい。
 - ・現在地域のお祭り、レクリエーション等で交流している。
 - ・マンションは比較的若い人が多く、高齢化した地域を活性化できる。
 - ・分譲マンションのため単独自治会を作り合同町内会となる。
 - ・ご近所様ですから何かと助け合えると良いなあと思いますが、それを望んでおられませんので無理にとは思いません。
 - ・ごみステーションの管理、防災訓練など町内会や地区の行事等に参加、協力、役割分担して共に助け合って町づくりをしていくパートナーであるべきだと思う。
 - ・現在、班長もいて町内の活動に参加している。
-
- ・ただし高齢者の方が多いので敬老会の出席程度である。
 - ・わが町内のマンションは単身者用であり、町内会への加入の意義を認めていない方達だが、防災上の連携等は必要と考えられるから。
 - ・再生資源ごみ回収 etc に協力してほしい。
 - ・学校行事以外の地区活動。（運動会、清掃等）

- ・ケースバイケースなのでは。
- ・ごみ収集に関するトラブルを解消したい。
- ・と思うが気性の分からない人が住居していて関わると言いがかりをつけられたことがある。
- ・子供の運動会で食事を無料にしているが、マンションと町内の子供を差別しないようにしているが、総会でマンションの子供と町内の子供の対応を変えたらとの意見もでている。
- ・子供会活動、ゴミステーションの利用。
- ・町内会でのふれあい。顔がわからない、入居条件に問題があるのかも。
- ・マンション入居の理由が近所付き合いをしたくないと言うひとがいる。
- ・一部のマンションでは入居時に町内会に加入する事を拒否しているが、町内会としては行事に参加してほしい。
- ・単身赴任者が多い為難しい。
- ・集合住宅への入居ランクの差が大きい。夫婦に子供がある人が入居する住人は学校との連携もあり、町内との付き合いはある。…歓迎。高齢者や一時的住人等が集まる住宅は町内会へ入る人が限定される。健康面や生活面での不安をかえながら町内会には入らず、福祉面だけを町内に負担をかけることが多く、歓迎できないケースが増加している。民生委員、福祉協力員、事故（含む病気）があった時の館長の呼び出し、立会いなどがあり、困惑することもある。
- ・地区イベント、校区イベント等、参加の意思を知る為でもある。
- ・独居老人ばかり入居されており、なかなか近所付き合いをして頂けません。
- ・出入りが激しく付き合いは難しい。会費は出ないのにゴミを出すので評判は悪い。
- ・管理人の考え方が後退的なる故、前向きに行かない。入居時、入居者へ町内会費の免除を条件としている故、町内会への未加入を当然の如くのように理解されている。

「必要ない」の場合の主な記述

- ・定住がわからない。身元がわからない。
- ・若者の自治会離れ。（自己主張のみ）
- ・犯罪が起きやすい。ゴミの出し方が悪い。
- ・100%近く学生が入居、転入、転出が頻繁な為。
- ・居住者から地域住民に接しようとしめない。アパートの住民も特別繋がりを持つてない。住んでる人の顔も良く分からない。回覧板、配布物を配るだけの付き合い。町内の会合にも出ないと言われている。
- ・マンションの入居者の出入りが多く実態がつかめない。さらに自治公民館にも加入していない。つきあいもなし。
- ・学生、単身赴任者がほとんどで時間帯が遅い、出会う事があまりない。

5. 困りごと、不安 →P47を参照

- 問5-1 地域での困りごと
- 問5-2 将来への不安
- 問5-3 不足しているサービス

6. その他自由意見

鳥取市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> 町づくり行政に関して10年先を見据えた高齢、過疎化対策など中期的視野が必要。一過性のイベントに金を出せば事足りるといった発想では、結果としてムダ使いに終わる。公務員OBの積極的参加(自治会)を期待したい。 集合住宅(マンション)の自治会設立。自治会設立は生活安全面、防災面、地域機能維持に重要で、住民として生活する上で最低の責任はあるのではないかと。個人責任を果たすことと、エゴと個人の権利とは違う。自治組織設立の条例なども必要と思う。 町内会の役員を積極的、自主的、主体的に受けようとする方が非常に少ない。特に町内会12班の中で班長を受けるのは各戸輪番制となっていて、特別な事情の家族はとぼして次に送る習慣があり、不思議な感を抱かざるを得ない。そのくせゴミ等のステーションへの持ち出しはごく当然のようになされている。その辺りのギャップに割り切れないものを痛感している。40代、50代、60代の方々がもっともっと積極的に町内会の前面に出て対応すべきと思っている。そうあってほしい。いわゆる住民感情の難しさをひしひしと感じているところである。 官庁の各自治会に対する係が少ないと思う。又官庁による各自治会への依存度は高く感じる。従前での対応では不十分と考えるので何か別の方法(新しいやり方)を考えてアプローチしてほしい。不要な組織は解散し、新しく必要な組織を作る等、検討してほしい。 高齢化が進んでくる中、人口も減少して自治会の運営も難しくなっている。近くに買い物もする場所もなく、何かしら抜本的な対策を望みます。市内の中心地域にあり文化面ではとても良い環境にあります。もっと活かさなければもったいないと思います。広域で包括的な対策を望みます。 地区の高齢化率は28.0%(24.6.30現在)で超高齢化と言えるかも知れません。高齢者の身体機能、心身の健康の維持・持続をはかることが大事となってきます。地区内の健康づくり推進員協議会、地区民児協、住み良い地区をつくる会、地区公民館等の健康づくりの行事への参加を呼び掛けていきたいと思う。
	うち中活区域	<ul style="list-style-type: none"> 独居の高齢者・高齢者夫婦が増えつつあり、そういう家で居住にゆとりがあれば、大学生 etc の家賃を抑えて、困りごとの相談(買い物 etc)に多少協力してもらおうといった学生さんの街中下宿などは進めれないか。戒町1区の実験的共同建替住宅の構造、実現に取り組んでおられるので、温かく見守りたい。これが成功すれば一つのモデルとなりうると思う。町内リーダーが少ないのが問題だが、すべての基礎は町内なので、町内交流を促進すべく外向からの助成と町内自身の努力が今より求められていると思う。 <意見ではなく>住民の不満な事柄等は、町内役員が相談し、素早く対応している。<要望として>行政サイドの素直で素早い対応と報告を要望します。 自治会、町内会の会長役員が高齢化しており、40代~50代へシフトチェンジすべき時期ではないでしょうか? 会長が70代なら副会長は40~50代、会長が40~50代なら副会長は60~70代といった世代間の受け渡しを各自治会で進めるべきと考えます。今のままで行くと自治会、町内会は消滅すると思います。 自治会活動で、班長、会長の仕事量が多すぎるとの声が多い。(以前に比べて)真に必要な印刷物のみとすべきでは? 市報、県報の活用をより有効なものにすることが大切である。
	郊外地区	<ul style="list-style-type: none"> 回覧文書は中身の伝達がうすいので、重要なものは各戸配布が望ましい。各般の班長が役員になる仕組みであるが、高齢化等で班長が務まらない世帯をとびとびで運営するため、班長が早くまわってくるのが最大の悩みとなっている。 個人情報保護法によるプライバシー保護で住民の情報が把握しづらい。地域の活性化にブレーキをかけている。
米子市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化が進み、高齢者が増えて、自主防災組織の結成を考えているが、若者が少なく困難な状況にあり不安である。下町のまちづくりが進み、町が活性化して若者が定着していくことを望んでいます。 個人情報保護の名目でしょうか、自分の名や家族の名を隠したがる人がいます。米子市に住む市民はお互いを信用し信頼し助け合う為の基となるので自己紹介の意味からも明らかにする必要があります。又自らも共同作業等町内の清掃作業には進んで参加しなければいけない条例をつくらしたら如何でしょうか。身体不自由の方には

		<p>当てはめない事を含めて。米子市に生まれ米子育ち。私個人的には良かったと思っています。米子市が取組んでおられる諸行事に敬愛の念で感謝しています。米子の町が明るく住み良い町になる様、そして発展する事を祈っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを推進する拠点施設としての地区集会場が必要で、空き家等でも活用するための家賃などの助成制度を設けていただきたい。 ・市民の為の行政改革が必要。市民の為に協力できる人作り、サービスではなく仕事として。 ・市全体の活性化にもっと市当局が積極的に取り組むべきだ。 ・色々な関係に寄付の要請が多すぎる。例えば赤い羽根募金、歳末助け合い福祉関係とか、会員には高齢者が多く、各位余裕などなく、会費負担が大変です。 ・平常時は大きな問題はありませんが、昨年のような豪雪時の除雪など天変地異を想定した対応策が確立・訓練されなければならないと思います。 ・数十年前交番があったのがなくなり、また数年前にもさらに統合再編がなされて、交番がもっと遠くになって、通報しても対処までに時間がかかるように思います。街灯を新しくしたり料飲組合と共同で防犯カメラを設置したりしていますが、それは防止と事後の検証の為にツールにすぎず、今起こった事案に対応するためには、そして安全安心な生活のためには当自治会に交番が必要と思っています。 ・まちなかで生活するには、日常のものが自分の家から 300 メートルの円周の中にあることが必要だ。それを基本にして空き店舗を活用していかなければならない。又、空き家は古い家が多いと思います。それを若者向きの家に改善する。古いものを活かす事で行政がまちなおしの計画を立案し、それを進めるための補助金を出すことによって何十年の後に、まちなかが再生されコンパクトなまちになり、社会資本も少なくすることができる。 ・町内を分割するような小学生の自由登校についてはやめてもらいたい。小学校の人数不足でこのようなことになると町内の一体活動に重大な問題が発生する
倉吉市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> ・山あり、川あり、海あり、そして生活に必要なスーパー、医者、行政施設、めぐまれているが、ただ若者が行く施設が少ない。マンガサミットなんかより若者に生きがいのある町づくりを願う。 ・行政と住民における問題点の一部として余りにもコミュニケーションが図られていない。行政側は、決定まで秘密裏に事を運び住民に良い事であるからと決定してから発表し協力を依頼してくる。本当にそれが住民の為であろうか。もう少し情報を発表して、住民と話し合いをして、理解を得るべきではないだろうか。 ・高齢化といわれもう何年もたつが、現在の状況はすでに高齢社会である。東京で生活している友人と話す機会があったのだが、東京は高齢化といってもピンとこない人が多いと言う。やはり地方から都会へ進学しそこで家庭を持つ人が多いためだと思う。裏を返せば帰りたいが帰っても働ける場所もなく、それならば 20 代 30 代の人が増え子供が増えていかなければどんどん地域が衰退してしまいます。そのためにももっと積極的に企業誘致を進め、若い世代が働ける場を提供しなければいけないと思います。それと並行して、高齢者の方が元気である地域づくりも必要だと思います。これは各自治体で考えることだと思いますが、その為の環境整備などを県や市が主体となってひっばって欲しいと思います。また自動車が不可欠な生活では高齢者の方は大変だと思います。公共交通機関（バス、タクシー等）が充実するように支援が必要だと考えます。 ・病院、買い物等不都合はないが、一人居り高齢者となって身体の動きが不自由になってからの対策が必要だと思います。行政等の「公」、自治公民館での共助もひっくるめて。 ・いろいろな行事、問題に対し文句は言うけど自らは行動しない、協力しない利己的な人が多くなっているように感じます。東日本大震災、大きな犠牲を期に防災活動の必要性を認識し行動し、更に自治公民館活動が活性化することを願って企画しても参加しない、無関心な人が多い。自分とは関係ないと考えているのでしょうか？粘り強く、啓発し継続するつもりです。 ・町内会の役員になる人がいない。該当者はいても、人の世話までせずとも自分の自由気ままな生活を求め、まわりから拘束されるのがいやな人達、いわゆる自分勝手な人が多くなったように思います。長い間町のみなさんにお世話になったので、一生の内 1 回位は皆さんの為に今の仕事を引き受けましたが、後任がなかなか見つからず、だらだらと 5 年になりました。どうしたら皆さんにやる気を起こせるのか、自分だけよければと言う今の世相がそうさせているのかわかりません。 ・1：高齢化の中で町内の役員も高齢化し、交代しようとしても後継が育たず。H23 年度の町内学習会で町の活性化について話し合い、H24 年より青年部を結成し、地

		<p>区活動に参加させている。(共働きで余裕がない)</p> <p>2：なんでも館長に言えば、と…対応に困っている。又 365 日で自分の時間が無いのがつらい。</p> <p>3：空家の持ち主が行方不明で、大風にて屋根のトタンの一部が飛散し、となりの住民から何とかしてほしいと言われ、市役所と相談しても手が打てないのが現状。</p> <ul style="list-style-type: none"> • まちなかの利点は歩ける範囲で日常のことはほとんど出きる事。人間関係が良ければ隣近所で助け合える。安否の確認が簡単にできる。小川の魚取り、夏のホタル狩り、家庭菜園、市民農園など身近な自然とのふれあいが出来る。よそからみればうらやましいと思われることが、日常的であるためその良さに気付かない。一度離れてみないと故郷の良さがわからない場合が多い。アパート生活の夫婦の次の住まいがまちなかの空き家に移る様になれば、近所の高齢者の生きがいとなり、又経験や技能など発揮できる機会もあろうかと思う。7～13 回忌が経った空き家を流通させるシステムの検討と放置住宅の解体。まちなか生活の良さ、あこがれの情報発信、地域のやるべきことの学習、受け入れ体制。全国で同じ課題をかかえている場合、移住を催す魅力があるだろうか。田舎は時間、経済、体力、精神に少しだけ余裕が出来れば住み良いところなのに。
境港市	中心地区	<ul style="list-style-type: none"> • 私心、各自治会の空き地などを行政が買い取り、官舎を建築し、職員を居住させ、その自治会の相談役又は指導者とし、種々の物事に対処させる。市あるいは県の歳出に余裕があれば、これぐらいの破天荒が必要ではないでしょうか。現状では一歩も前に進まん。 • 地域活性化の大きな柱に「情報発信」があります。現在、市からの市報、公民館からのたより、社会福祉協議会からのレポートなどがあります。しかし、足元の町内の情報の受発信が無いため、身近で何が起り誰が何を要望しているのかわかりませんでした。そこで今年から当会では会員向けにかわら版を発信し、身近な情報を発信すると共に、何でも要望シートを回覧し、会員の身近な要望を汲み上げています。また、町内6ヶ所の掲示板にこれらの情報を発信するステーション機能を持たせ、住民へのアピールを行っています。今後もさらに情報の受発信を強化し、”息づかいが聞こえる”町づくりをしていきたいと考えています。＜要望＞掲示板の新設についての補助金の支給。 • 自治会の世帯数について、当会は19世帯であるが大きい自治会は数百世帯のところもある。公民館は小さい自治会は合併して活動を活発にして欲しいというのが、新しい自治会組織は見当されないものであろうか。

